

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたもの입니다。



いじゅ さとる
伊集 悟 議員



問

「いじも家庭庁は、いじもの利益を第一に考える「いじもまんなか社会」の趣旨に賛同する※「いじもまんなか応援ソーター」の参加を広く呼び掛けている。本町もぜひ参加を。

福祉部長 参加に申請は必要ななく、「いじもまんなかアクション」を実行し、SNS等で「#いじもまんなかをやつてみた」を付ければいいので、今後こどもまんなかの取組みで積極的に発信したい。

問 本年度から学童クラブの家賃補助が始まったが、導入状況は。保護者の負担軽減はどうなったか。

町長 12クラブが実施し、月額利用料金は平均で約3,100円の負担軽減が図られている。今後とも保護者の負担軽減を図っていく。

※「いじもまんなか応援ソーター」とはいじもたちのために何がもっともよいとかを考え、いじもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取組む個人・企業・団体、自治体をいう。



■子どもの心身を傷つける体罰を西原町からなくそう！

問 本年度の体罰事案の内容は。

教育総務課主幹 朝の挨拶運動で生徒の態度に対し、教員が胸ぐらをつかんだり、大声で叱責した等の事案。違法な体罰は時代錯誤であり、逆効果ともいわれる。なぜなくせないのか。

教育長 不適切な指導は児童生徒の尊厳と権利を著しく侵害し、心身に重大な影響を与えるだけでなく、児童生徒や保護者からの信頼を著しく低下させ、安心、安全な学校生活を脅かすため断じて許されない。今後、再発防止に向けて信頼される学校、教師を目指して、粘り強く指導、助言していく。

■食べ残しのないおいしい給食を！

問 摂取カロリーが国の摂取基準量を満たさない要因は価格高騰と好き嫌いによる食べ残しの影響もあるというが、食べ残しのない人気メニューの多用を検討しては。

教育総務課長 栄養バランスがあつても食べ残しては意味がないので今後議論したい。

問 「いじもを一番に大切する」「どもまんなか西原町を！」

■施政方針及び町政運営について聞く

問 都市基盤整備について国の方創生伴走支援制度を活用していく考えはないか。

町長 今、国の機関と調整中で職員を派遣することで交流を持ち、そこで得た知識を西原町に反映できないか協議をしている最中である。都市基



あらた そうしん
新田 宗信 議員

■西原まつりに小中学生によるエイサーの演舞を取り入れる考え方はないか。

問 西原まつりに小中学生によるエイサーの演舞を取り入れる考え方はないか。

総務部長 今回のまつりにおいて出演時間枠を確保することは厳しいものと考えている。

土木課長 南小学校裏門辺り、現在木課長

■町内空き家状況と独居老人の世帯数と支援対策を聞く。

問 町内空き家状況と独居老人の世帯数と支援対策を聞く。

建設部長 令和5年度の調査にて81件の空き家を確認している。

福祉部長 独居老人の世帯数は令和5年4月1日現在1,975件で、住まいについての相談の際は、町営住宅及び県営住宅などの情報提供を行い、その他、配食サービス事業や在宅高齢者等緊急通報システム等の

問 他の質問

○いじめをしない・させない・見逃がさない・
許さない西原町へ

問 食べる時間を十分に確保することも考えてよいのでは。

教育総務課主幹 先生と生徒も時間をしつかり守り、中学校の給食委員会や児童会も連携し、給食活動を進めたい。

盤整備事業については良い事だと考えているので前向きに進めていく。

問 瑞大病院の跡地利用について一時活用の提言を行う考えはないか。

町長 事業がなかなか前に進まない状況にあり、副知事と協議をしながら何らかの形でアクションを起こせないか検討しているといふである。



やましろかつたか
山城 勝貴 議員



■認知症予防、早期発見、早期介入を

問 認知症の予防、早期発見の一つとして地域住民が無償で物忘れ検診（物忘れ外来）が受けられる仕組みが必要ではないか。

福祉課長 県外の先進的な取組や内他市町村の取組も確認し検討したい。

問

子育て短期支援事業（ショートステイ）への取組状況は。

福祉部長 子育て短期支援事業は取組めていない。実施施設等の確保が必要である。

問

綱曳きなどの地域の伝行事へ一部助成、補助は検討可能か。

総務部長 物価高騰により、地域の伝行事が厳しい状況に直面してい

■子育て環境の充実を

問 自治会に加入せず、いいあんべー共生事業にも参加のない住民へのフレイル予防として町の公式LINEを活用したフレイルチェックを実施し、健康ポイントを付与する取組みも必要ではないか。

福祉課長 SNSなどを利用したフレイルチェックは、今後の課題みたい。

問 德佐田橋周辺の排水対策について聞く。

町長 德佐田橋周辺の側溝が土砂で埋まり機能していない状況は把握している。早急に修繕を行っていく。

問 德佐田橋周辺のごみ不法投棄問題について対策を聞く。

町長 德佐田橋周辺の高速道路、側道におけるごみの不法投棄は土木課の草刈りの際に、環境安全課と連携し撤去作業を行う。

■地域伝行事への一部助成を

その他質問
○障がい者相談支援事業について
○ペアレンツサポート・パートナーシップの取組みについて

場を確認して調査を行い土木課において検討していく。

支援を行つてゐる。

問 各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

町長 事業がなかなか前に進まない状況にあり、副知事と協議をしながら何らかの形でアクションを起こせないか検討しているといふである。



瑞大病院跡地の一時活用の提言を！



西原南児童館裏の農道に防犯灯を！

■西原陸上競技場の安全管理について

することは課題だと感じている。すぐさま補助することは厳しかったため、当該課題解消につながる事例等を確認していかたい。

問 西原町陸上競技場の安全対策について。7月下旬、陸上競技場のメインスタンンドからこどもが転落する事故が起こった。事故後の対応と今後の対策について聞く。

教育部長 事故後、臨時的にラーニングにて、落下危険の注意喚起を行つてゐる。今後は既存の手すりにワイヤーメッシュを速やかに取りつけることで事故の再発防止に努めたい。

- その他質問**
- 町職員の自治会加入率について
 - 教育環境の充実について
 - 農福連携と学校給食の食材の確保について
 - ゴミ焼却施設の設置について
 - 平園ハイツ内の集会所用地について
 - モノレールの延伸及び駅等の再開発について
 - 里道、道路網及び排水施設の整備について
 - 焼却施設の設置について
 - 消防・防災体制等の確立について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。



ぎましゅんたろう
儀間 駿太郎 議員

企画財政課長 基金を運用して債権を購入するのは難しい。

18歳までではなく、1歳ずつ拡充するには可能か。

町長 対象年度を1年ずつは考えられるが、給食費やその他子育て支援等トータルで考えたうえで検証する必要がある。

■18歳までの医療費無償化実現に向けて

現在本町で行っている15歳までの医療費無償化を18歳まで引き上げると必要財源は？

健康保険課長 令和6年度試算で年間、2,600万円の増額となる。財源を確保するために、基金の運用等は可能か。

■陸上競技場で起きた転落事故!!

当該施設のメインスタンンドの柵の隙間からこどもが転落した。日常点検や危険個所の対応を聞く。

教育部長 職員や芝管理職員、夜間は、警備員が目視確認している。目視ではなく、点検簿で情報共有するべき。以前予算化したかったが財政難できなかた。そこ



まえしろてつ
真栄城 哲 議員

ばなりない課題だと答えてくる。

■Park-PF1制度の導入について

町長 実施の可能性の高いと思われる東崎都市緑地公園（イルカ公園）において、簡易的な※サウンディング調査を行いたいと考えている。

■災害避難所指定されている小中学校に空調設備導入を

避難所指定されている小中学校に対しての空調整備について、国から補助等があるが本町教育委員会の考えは。

教育総務課長 避難所としての機能強化、熱中症対策ふくめた教育環境の充実ということで必要性が高まっていると認識している。今後空調設備についても計画的に取組んでいかなければ

調査ではなくて、実際に足を運んでいる町民や、利用者に声を聴くことも大事ではないか。

*「サウンディング調査」とは地方公共団体が有する土地や施設の活用方法について民間事業者から広くアイデアや意見を聞くために行う調査。

■飽和状態の包括支援センター!!

修正する必要がある。

現在、飽和状態の中、施設の増設、人的配慮、本町が直営することとも考えられるが。

福祉課長 施設増設は、予算を伴うため無理。人員体制については次年度の予算計上に向けて調整して行きたい。直営については、町村殆んどが

都市整備課長 調査内容としては、事業スキーム等に関する民間事業者との対話により意見の取集や新たな提案を予定している。可能な限り利用者の意見を反映していきたい。

西原町にふさわしいPark-PF1制度についてももらいたい。

町長 にぎわいのあるような施設になるよう企業とも調整しながら、ふるさと納税、企業版などいろんな形を取り入れながら実現していきたいと意気込みを。

町長 にぎわいのあるような施設になるよう企業とも調整しながら、ふるさと納税、企業版などいろんな形を取り入れながら実現していきたいと考えている。

その他の質問

- 小中学校の運動場の整備
- 災害時の非常用電源等設備の整備管理
- 町内全体における避難訓練
- 水道事業会計決算状況並びに今後の見通しについて
- 区画整理費や時の本町の税収増について

年である。当然、住民説明会は、行うこということでよいか。

都市整備課主幹 めて検討していただきたい。

建設部長 事業計画の変更も含めて、地権者に対しても、検討ではなく行うべきだと考えるが。

建設部長 当然、事業計画の変更是、地権者へ周知しなければならないので、説明会をやる方向で検討してい

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部を各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

問 防災対策事業（防災無線機能強化整備）の現在の進捗は。

〔総務部長〕 資機材の価格特別調査を行つており、実勢価格が算出された後、速やかに入札等を行う。

〔環境安全課長〕 10月頃を予定に、一般競争入札を検討。ホームページ等

■町政全般について



陸上競技場の転落事故。
日常点検や危険個所対応
は？

も共有されてない。
生涯学習課長 指摘の通り、書面
で残せる方法を考えてきた。

■担当課外の職員が事業を進めるの?

直営であるので、検討したい。

き
た
い

問 関東学院大学連携事業について、当然、担当課の職員が窓口になるべきと思うが、部署外の一職員が個別で行っていることがわかつた。本町の事務分掌は、部署外でも構わないのか。

R7年3月末時点の残工事費
が約49億円。事業費に充てられる
保留地処分金約14億円とR7と
R8年度の予定事業費8・8億円を差
引き約26億円。現在、沖縄県からの配
分額が約2億円で、割り算すると約13

問 「公共交通協議会」の立上げと、地域交通計画の策定に向けた準備は。

先が見えない。現にある施設の活用の提案、県を含めて動かそうという形で今動いている。

先が見えない。現にある施設の活用の提案、県を含めて動かそうという形で今動いている。

市民交流センター（さわふじホール） 管理運営業務について

問 町民交流センター管理運営業務の次年度における対応は、具体的に検討されているのか。

教育部長 令和7年度は一般競争入札による一年間の委託契約。次年度に向け複数年にするか現在検討中。

問 「国立大学法人琉球大学上原地区キャンパス跡地利用推進協議会」の新たな動きは。

総務部長 現在の内容よりさらに具体的な計画策定に向けコンサル業者へ委託の準備を進めていると聞いてる。

町長 一番のネックは、コンサルに委託しこれからスタートする状況で

○ 2025年度の県内最低賃金が七一円増の一〇三円になる。田淵局が対処すべき事はあらのか

- 職員の疾病対策について
- 都市マスター・プランの改定について

一般質問

- この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものですが、名議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



おお しろ せい いち
大城 誠一 議員



的とする施設である。西原町は、65歳以上の老人人口が8,600名を超えしており、地域包括支援センターが1か所では運営が厳しいと思うが見解を聞く。

町長 高齢者人口は増加をたどる一方であると同時に、複雑化した問題の多いケースも増えている。社会福祉協議会（以下社協）の負担感は十分に感じている。職員の増加や後方支援体制の強化について検討してきたい。

■西原町地域包括支援センターの運営について

■ 農政について

問 令和6年度のサトウキビ生産高は1042トンで激減している。生産者が高齢化し、後継者がない。サトウキビ畑のほとんどが遊休地、耕作放棄地となってしまった中、サトウキビ生産者



おお しろ よし ひろ **大城 好弘** 議員



問 西原町地域包括支援センター
は、介護保険法に定められた
地域住民の心身の健康の保持および生
活の安定のために必要な援助を行うこ
とにより、その保健医療の向上及び福
祉の増進を包括的に支援することを目

先である社協と運営する上で、課題について協議したことはあるか。

■西原南小学校3年1組の クラス運営について



西原町地域包括支援センター

西原南小学校3年次クラスは普
通学級に31人、支援学級12人、
交流学級で授業を行うとき43人とな
る。このクラスの運営は支障なくでき
ているか。

野菜約5,000万円、果実類約2,000万円、サトキビ約2,000万円、芋類が約1,000万円、畜産牛肉7,000万円となつてゐる。

農業委員会事務局長 令和元年
約2.5ヘクタール、令和2年度は2.5
ヘクタール、令和3年度約3.5ヘク
タール、令和4年度約2.6ヘクタール、

○ 中学校学校給食園の摂取基準達成ゼロ

ついては、以前に比べ児童も落ち着いて学習や学級活動に取組めており、児童同士もお互いに助け合ったり、思いやりを持って関わりあっている状況にあるとのことまた学校の取組みとしては、3学年だけの自閉情緒学級1クラスを編成したことで、交流及び共同学習で通常学級に入る際、2人体制で授業を実施したり、教科によっては2クラスに分けて少人数指導をおこなって

農業振興の今後の取組について
問 町長 町長の見解を聞く。
問 小波津川の橋梁工事が止まっているが進捗は。
答 作放棄地や遊休地の解消、認定農業者や新規就労者等の育成、生産農家の経営基盤の安定化、関係機関と連携を図り、農業振興に努めていく。

較で22戸減少。

一般質問

- この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
- 各議員横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

問 西原町では一人暮らしの高齢者は何人ほどいて、買い物をする
際、どのような形でやっているのか。
「買い物難民」と言われる言葉がある
が、町当局は今後どのような対策法を
考へているか聞く。

問 沖縄県内の中学生や高校生が違法麻薬に觸わって、県警に補導されたとしてテレビで放映されている
が、町内の子ども達は問題なかつたか。

福祉部長 一人暮らしの高齢者は



まえ さと こう しん
前里 光信 議員



令和五年四月一日現在で1,975名となつており、買い物の実態については、これに特化した調査を行つていな。しかし、いいあんべー共生事業などの各種事業の場で聞いたところ、家族と一緒に買い物へ行くケースや家族に買い物を代行してもらひうケースが多いこと。社会福祉協議会は買い物送迎支援モデル事業として交通が不便な地域でこれを実施していることから、今後は社協と連携した取組みができないか検討していきたい。

■違法麻薬の乱用について

問 沖縄県内の中学生や高校生が違法麻薬に觸わって、県警に補導されたとしてテレビで放映されている
が、町内の子ども達は問題なかつたか。

教育部長 西原町内の小中学生が



サトウキビ生産者の戸数は？

建設部長 沖縄県農林水産部農業関係統計により、基幹的農業従事者数は76名。

■農業所得上位5者の金額を問う

産業観光課長 農業所得上位のデータは持合せていないので、農業生産出荷額で答弁する。令和5年度の生産額は、

農業専従者について

令和5年度約1,9ヘクタール、令和6年度約2ヘクタールとなつてゐる。

建設部長

今年度は対岸側の下部工工事に向け8月8日、入札を予定。指名業社全員辞退のため、入札不調。辞退理由について聞き取り調査を行い、再入札準備を鋭意進めている。



遊休地、耕作放棄地の解消実績は？

教育長 薬物乱用は学校教育のみでは解決出来ないと思ってる。地域をはじめ社会総がかりで取組を展開しながら、意識を高める啓発活動が今まさに求められていると思う。学校、警察、各種団体等の連携をより一層強化していく必要があると考える。

■各自治会のまつり等について

問 町長は各自治会のまつりに参加したと思ったが、その感想を聞く。
幅広い層からの参加があり、地域の絆を強く感じた。「第一回西原まつり」はエイサー、獅子舞、棒術や旗頭の共演など町民が主役となる多彩なプログラムを企画している。



第25回西原まつりの様子

その他の質問

- 県道浦添西原線について
- 第46回西原町陸上競技大会について
- 沖縄科学技術大学院大学について
- 第一回西原まつりについて

町長

私は沖縄県、西原町の思いを先ほど述べた。国の話を私がどうの立場にはないと思っている。恒久平和というのは誰もが考えていることだ。町民から平和をみんなで希求している」といつつ第一に考えていきたい。



よなみねよしき
與那嶺 良樹 議員



■「1」とも誰でも通園制度」について

問

2歳児が3歳になつたら、どうなるのか。

トヨヒロ課長 国が示しているのは3歳の誕生日の前々日まで受け入れ可能となつてるので、それまでの利用となる。

問

市町村の条例で、年度末まで利用できるようにできた市町村もあると聞いている。検討できなか

福祉部長 町立坂田保育所を最初の実施施設として予定。関係条例案の整備や施設の改修、マニュアル作成等の準備を進めていく。
問 医療的ケア児、障害児、要支援家庭のこどもの受け入れ体制の

である。

問 何故地域公民館建設に公的資金を当てる事が出来ないのか問う。

町長 現在、地域公民館建設に主に活用されている公的資金は、一般財団法人自治総合センターの「コミュニティセンター助成事業と、町の自治会事務所建設等助成金がある。

企画財政課長 自治総合センターから「コミュニティセンター事業の2千万円と、町の単独事業の補助3百万円が現在できる予算処置。

■公民館の建替について

問

公民館の老朽化に伴う建替えについて。現状をどのように把握し、行政はどう考えているか問う。

町長 町では、地域コミュニティの活性化を図る上で公民館の必要性は高いと考えている。そして地域の自発的な取組みに対応してサポートする考え方

企画財政課主幹 コミュニティセン

ター事業は令和7年度から上限2千万円まで認められる。

問 建築資材や人件費等の高騰など行政所見を問う自治会で一億円前後の借入金を返済する事は困難であると思慮するが行政の所見を問う。

総務部長 建築資材等の高騰により

建設費が膨らんでいる状況だが、設計や資金調達方法の見直しなど、必要最小限の建築計画として進めている自治会もある。補助金を活用し、建替えが実現できる様サポートしたいと考えている。

問 各自治会の公民館の建替えた資金予算を問う。

総務部長 棚原公民館は一億三千八百万円、掛保久公民館が三千八百万円。

■町道の補修について

問

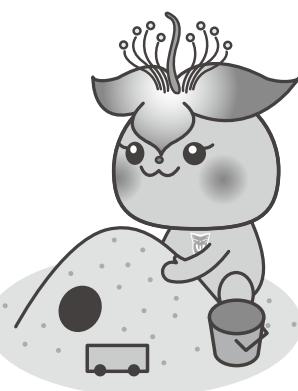
翁長から幸地に向けての道路はカーブが多く速度抑制出来ず事故も発生しており滑り止め補修をお願いしたい。

土木課長 今年度は予算が厳しく次年度以降に予算化し施工する考えである。



カーブが多く、スピードも出がちな
翁長・幸地線

町長 私は沖縄県、西原町の思いを先ほど述べた。国の話を私がどうの立場にはないと思っている。恒久平和というのは誰もが考えていることだ。町民から平和をみんなで希求している」といつつ第一に考えたい。



一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたもの입니다。



ながはま
長浜 ひろみ 議員



まちにふさわしい文化的な環境と、風格を有する地区を形成し、事業の具体性が出た際は、様々な協議等ができるものと想定、地元の声を確認し、地元住民との調和、共存する施設、文教工リアとしてふさわしい人材育成ができる施設が望ましいと、協議会の中で伝えていきたい。

国道329号与那原バイパス北交差点について

琉球大学病院跡地利用について

琉球大学医学部病院跡地利用についての進捗状況は。

町長 琉球大学医学部病院上原キャンパス跡地利用推進計画を策定され、具体的な内容の計画策定に向け、現在コンサルタントへの委託を行う準備を進めていると伺っている。文教の

与那原バイパス交差点の令和7年度進捗状況と与那原バイパス工事に伴って、我謝郵便局前が国道329号に向けて混雑している。我謝

から国道329号に向け、右折、左折に、変更があるのかと不安の声を聞くが。

建設部長 与那原バイパスと接続する国道329号の与那原北交差点へ向かう通路の状況は、学校からも要望があり、課題を認識している。当該通路は傾斜地で雨水が多く、何らかの対策が必要と考え、整備面積や雨水処理、

は、現在、事業主体の南部国道事務所が、交差点改良に必要な用地交渉を進め、完成に向け鋭意努力している。現状での国道329号我謝交差点は、町道から国道へ曲がる右折、左折に関し交差点変更等の予定はない。

西原南小学校駐車場について



やびくみつる
屋比久 満 議員

児童減少で校区見直しを聞く。

本町の状況を聞く。

建設部長 接続部分については、県が令和7年5月から新県道浦添西原線と、暫定供用区間の拡幅工事をしているが、本町としては、県の工事に合わせたい。

建設部長 県の発注工事は、令和7年5月17日から11月12日までの工



西原南小学校の体育館へ向かう通路が荒れている。対策は？

予算面の課題が多く、引き続き整備手法や予算の確保、優先順位等を踏まえ検討する。

平和行政を質す

戦後80年事業の取組みを聞く。

町長 西原町戦没者追悼式平和資料展、激戦地だった西原、焼け野原からの80年、戦争体験者の証言、また6月23日に平和の約束2025年を開催した。

Park-PFI事業を質す

那覇市は漫湖公園でPark-PFI事業を実施する。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。

議会活動

令和7年度町村議會議長・副議長研修会

全国町村議會議長会（渡部孝樹会長）は令和7年5月27日に東京国際フォーラムホールAで令和7年度町村議會議長・副議長研修会を開催しました。西原町議会からは大城純孝議長が参加しました。



大城純孝議長

研修会内容

- 広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な「防災DX」
内閣府政策統括官付参事官 松本真太郎 氏
- 平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題
—自治体実務の立場から—
明治大学名誉教授 青山 俊（やすし）氏
- 災害と議会・議員の役割
同志社大学名誉教授 新川達郎 氏

中部地区議長会県外視察

沖縄県中部地区町村議長会（大城純孝会長（西原町議會議長））は令和7年5月19日～22日に宮崎県を訪れ、視察研修を行いました。

主なテーマ

（宮崎市）

- 「宮崎市議会DXみやだん」の取組みについて
市民と議会との距離を無くすことを目的に、IT技術（=DX）を使った参加型プラットフォーム
- 宮崎県防災庁舎および議場視察



▲宮崎市役所前の6町村議長一行

（日南市）

- 飫肥城下（おびじょうか）町保存会の取組みについて
ITによる町民と議会の関係性強化、そして城下町保存会の取組み。

この宮崎県の2市には、先進的で活気ある取組みがありました。これらは西原町のまちづくりにも大変参考になるものであり、ぜひ推進していきたいと思います。

問 西原の塔の刻銘の人数を聞く。

町長メッセージを掲載した。

PF一事業を開始した。本町も検討するという事だが、現状を聞く。

町長 5,278名が刻銘されている。新たな刻銘者はいない。

■西原南小学校特別支援学級問題を聞く。

平和宣言の予定を聞く。

町長 本町は昭和60年に西原町非核宣言を行っている。戦後80年の節目として沖縄を二度と戦場にさせない決意と、恒久平和を誓いホームページに

問 特別支援員の増について町の見解を聞く。

教育部長 今実施している指導、支援の質の向上の面から改善、充実に取組みたい。

■道路行政を質す

問 県道38号線と西地区接続について県側の工事は進捗しているが

町長 現在情報収集を行っており、イルカ公園で簡易的なサウンディング調査を行いたい。

問 坂田交差点位置が、県都市計画審議会で決定したが、町の考えを聞く。

建設部長 県と坂田自治会、町で協議してきた。今後も県と協議を進めたい。

事、町の発注工事は、令和7年8月18日から10月31日までの工事。

令和7年度 第6回 定例会 議案議決結果

事件番号	事 件 名	議決結果
報告第9号	令和6年度西原町健全化判断比率の報告について	報告
報告第10号	令和6年度西原町公営企業会計資金不足比率の報告について	報告
報告第11号	令和6年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	報告
報告第12号	令和6年度放棄した債権の報告について	報告
報告第13号	令和7年度西原町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書（令和6年度事業実績）について	報告
認定第1号	令和6年度西原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和6年度西原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和6年度西原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和6年度西原町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和6年度西原町下水道事業会計決算認定について	認定
認定第6号	令和6年度西原町水道事業会計決算認定について	認定
議案第38号	中部広域市町村圏事務組合規約の変更について	原案可決
議案第39号	令和6年度西原町水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第40号	西原町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第41号	令和7年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第42号	令和7年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第43号	令和7年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第44号	令和7年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第45号	令和7年度西原町水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第46号	工事請負契約締結について（西原東こども園アクセス通路整備工事）	原案可決
	閉会中の継続審査・調査申出書	可決

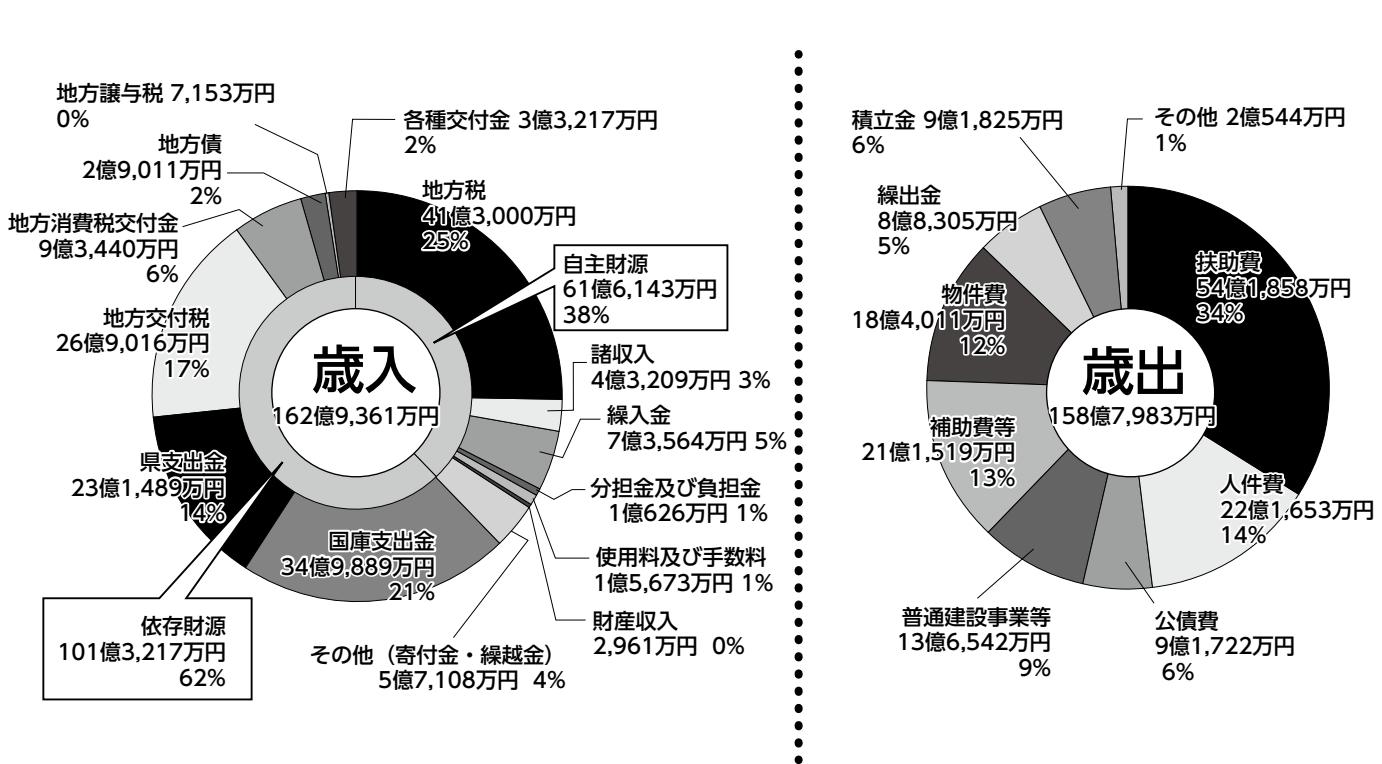
第6回定例会 令和6年度 決算審査



第6回定例会は、9月5日から9月24日まで20日間の会期で行われ、一般質問、補正予算、条例改正や令和6年度決算などの審議を行いました。

決算では決算特別委員会を設置し、該当事項を所管する各常任委員会に付託し、財務処理の全体を通して、その執行が適正、公平かつ能率的、合理的に行われたか否かの適否を審査しました。その結果、全議案について、全会一致で認定しました。

また、4日間にわたる一般質問では、13人の議員が質問に立ち、教育行政や福祉行政、道路整備事業や地域課題など多岐にわたる活発な議論が展開されました。



令和6年度 一般会計・特別会計決算の状況

区分	歳 入			歳 出			
	決算額	前年増減額	前年比	決算額	前年増減額	前年比	
一般会計	162 億 9,361 万円	11 億 2,449 万円	7.4%	158 億 7,983 万円	11 億 3,365 万円	7.7%	
特別会計	国民健康保険	41 億 6,449 万円	△ 1 億 1,577 万円	△ 2.7%	44 億 683 万円	△ 2 億 6,533 万円	△ 5.7%
	土地区画整理事業	4 億 618 万円	△ 4,971 万円	△ 10.9%	3 億 9,557 万円	△ 3,994 万円	△ 9.2%
	後期高齢者医療	4 億 4,600 万円	1 億 1,060 万円	33%	4 億 4,348 万円	1 億 970 万円	32.9%

**みなさんからの陳情はこうなりました
9月定例会で審査した陳情の結果を報告します。**

	件名	提出者	採択方法及び附託委員会	結果
陳情第 973 号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について(要請)	西原町商工会会長 下地浩之 西原町観光まちづくり協会 会長 近藤 哲司	本会議即決	採択
陳情第 974 号	都市モノレール網の拡充整備に関する陳情	一般社団法人 沖縄県建設業協会 浦添西原支部 支部長 内間 司	配付	
陳情第 975 号	夜勤規制と大幅増員で安全・安心の医療・介護の実現を求める陳情	沖縄県医療福祉労働組合連合会 執行委員長 山田 義勝	配付	
陳情第 976 号	令和8年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	公益社団法人 日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	配付	

議会活動

町村議会・事務局職員研修会

令和7年10月8日、沖縄県町村議会議長会(神谷たか子会長)主催による「町村議会・事務局職員研修会」が西原町市民交流センター(さわふじ未来ホール)で開催され、西原町からは18名の議員が参加しました。

研修のテーマは全国町村議会議長会議事調査部長の飯田厚氏による「議員の役割と負託される職務」と、災害ソーシャルワーカー・社会福祉士・防災士の稻垣暁氏による「災害時における町村議会と議員」の二本。また、この講演の間に一般財団法人沖縄美ら島財団から、「首里城復興の歩み及び海洋博の50年」と題した報告会がありました。

全国町村議会議長会議事調査部長
飯田厚氏



災害ソーシャルワーカー・社会福祉士・防災士
稻垣暁氏



沖縄美ら島財団による
首里城復興の歩み及び海洋博の50年報告会



研修会の様子

沖縄県議会（土木環境委員会）視察調査

当該危険個所は、平成27年頃から上部で民間事業者が切土や盛土を繰り返し、農地法や建築基準法等の法令違反を重ねながら営業を続けています。これに対し西原町は、農業委員会等関係部署より度々指導を行ってきましたが、その間の平成28年4月、令和元年6月、令和3年6月と梅雨の時期に3度にわたり再び土砂崩落が発生、特に町道池田2号線は崩落以降車両及び歩行者等の全面通行止めとなっています。土砂崩落の量や範囲は年々拡大、近接の沖縄自動車道近くにまで迫っており、今後台風や集中豪雨等の影響で大規模な土砂崩落や重大事故に繋がる非常に危険な状況にあります。

本町土木課は、令和3年11月24日付西土第1091号で、沖縄県土木建築部長へ要請しましたが抜本的な対応がなされないため、令和7年1月29日付西都第598号で、沖縄県企画部長宛の要請も行いました。しかし状況は変わっていません。令和7年6月2日、西原町議会より意見書及び決議文を沖縄県土木建築部長と沖縄県議会議長へ手渡し、さらに同年6月6日沖縄県県議会土木環境委員会へ請願を提出。同委員会で採択されたことから、今回の視察調査が実現しました。本町からは、大城純孝議長と真栄城哲建設産業常任委員長が同行しました。県土木環境委員長の仲里全孝委員長は、現状を重く受け止め早急に対応していくと述べており、今後、町や議会は、県の担当部署に対し経緯や対応について、説明を求めていきます。

※この件は、県内新聞2紙に掲載されています。

令和7年7月30日 視察調査の様子



池田土地開削現場を遠方から望む県議会委員一同



西原町の担当者より状況説明を受ける県議会委員一同



道路が土砂で埋まり、高速道路下のトンネル内にも土砂が流れ込んで通行止めが続く
町道池田2号線。
一面に雨水が流れ、まるで川のよう。

議会活動

町村議会正副議長・正副委員長研修会



全国町村議会議長会企画調整部長
鈴木毅氏



全国町村議会議長会議事調査部長
飯田厚氏



人気漫画「葬送のフリーレン」とコラボした
主権者教育用リーフレット

令和7年8月19日、沖縄県町村議会議長会(神谷たか子会長)主催による「町村議会正副議長・正副委員長研修会」が開催され、西原町からは正副議長、各常任委員会の正副委員長が参加しました。

研修のテーマは全国町村議会議長会企画調整部長の鈴木毅氏による「議員のなり手不足と女性議員の議会参画」と、同議事調査部長の飯田厚氏による「地方議会が担う主権者教育/議員報酬の見直しに向けた手順」の二本。鈴木講師からは、町村議会の現状に始まり、議員のなり手不足が発生する原因や対策、取組みについての講演がありました。

飯田講師からは、主権者教育、すなわち地方議会への理解を高めるための令和5年の自治法改正の説明、そしてその方策として人気漫画「葬送のフリーレン」と全国町村議会議長会でコラボレーションしたリーフレットによる主権者教育等について講演がありました。

題字 制作者

西原小学校 6年生

な こう ゆう き
名幸 優希さん

[ひとこと]

バラつきのある文字にならないよう、まとまりよく書くことを意識しました。1つ1つの字を丁寧に書けたので良かったです。



表紙の題字と写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか?

表紙の題字(『議会だより』の文字。横書き)や写真を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先 議会事務局(議会だより表紙の題字・写真について)

TEL 945-5122 FAX 945-5045

mail:gikaii_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

9月議会の傍聴者

延べ人数

6/人

議会だよりに対するご意見、
ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局

TEL:098-945-5122

時節柄せわしい時期をむかえました。
去る10月には二年ぶりに西原まつりが開催され二日間にわたり多くの町民の皆さんが来場されました。二年前、棚原ミルク太鼓と棚原のガク(ペーラーら、チャルメラ)との共演で僕もガク奏者として舞台に立たせていただきましたが、今回の西原まつりは旗頭で参加させていただきました。しかし、上手く持つことができずふらふらと傾いてしまい周囲の皆さんの助けがなければ倒してしまったかもしません。各地域のエイサーや旗頭はとても勇壮で素晴らしい演技で見ていて方々を魅了していたのではございようか。地域の伝統やその誇りを先輩方から若い世代が受け継ぎ、また次世代へつながれていく。地域行事を通して育まれる人のつながりを一議員として地域振興の視点から今後も応援していくべきだと思います。そういう意味でやっぱり一年に一回はお祭りがある方が町の活性化にもつながるのではないかと思います。今年も残すところあとわずかになりました。体調には気をつけながら年末を乗り切ってまいりましょう。また、来る新たな年が、町民の皆さん、そして西原町にとって希望の持てる一年となりますことを願っております。

つぶやき



この印刷製品
は、環境に配慮
した資材と工場
で製造されて
います。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えていまます
FSC® C166756